



平成21年2月6日

各位

上場会社名 昭和電工株式会社
 コード番号 4004 東証第1部
 代表者 取締役社長 高橋恭平
 問合せ先 執行役員 IR・広報室長
 佐藤勝信
 TEL (03) 5470 - 3235

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の景気情勢の動向、為替レートの変動等を踏まえ、平成20年11月6日に公表した平成20年12月期通期業績予想を修正いたします。

記

1. 平成20年12月期連結業績予想の修正(平成20年1月1日～平成20年12月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年11月6日発表)	1,050,000	34,000	20,500	10,000
今回修正予想(B)	1,003,800	26,700	9,700	2,400
増減額(B) - (A)	△46,200	△7,300	△10,800	△7,600
増減率	△4.4%	△21.5%	△52.7%	△76.0%
前期(平成19年12月期)実績	1,023,238	76,671	59,989	33,066

2. 平成20年12月期個別業績予想の修正(平成20年1月1日～平成20年12月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年11月6日発表)	720,000	18,500	11,000	6,500
今回修正予想(B)	705,200	13,500	4,300	3,300
増減額(B) - (A)	△14,800	△5,000	△6,700	△3,200
増減率	△2.1%	△27.0%	△60.9%	△49.2%
前期(平成19年12月期)実績	709,642	48,756	43,490	22,289

3. 修正の理由(平成20年1月1日～平成20年12月31日) (連結、個別)

国内外の急激な景気後退により、販売数量の減少や円高の影響を受け、前回予想を下回ります。

売上高は、前回予想比、石油化学では期後半の減産により減収となり、電子・情報ではPC業界の生産調整の影響を受け、ハードディスクを中心に減収となります。アルミニウム他は、世界的な自動車生産の減少を受け、自動車向け部材を中心に減収となります。

営業利益は、石油化学における年後半における減産、電子・情報におけるハードディスクを中心とした年後

半の数量減、アルミニウム他においては、自動車向けの出荷数量減、により減益となります。経常利益は営業利益の減少に加え、急激な円高による為替差損の増加により減益となり、当期純利益は、経常利益の減少により減益となります。

注. 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提として作成したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、予想数値と大きく異なる場合があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、ナフサ等原材料価格、製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

以上